

## 5. 全体共有・発表・まとめ 11:31~11:53 (22分)

- ・記入した意見交換用紙をもとにして、各班の発表係が班内振り返りの結果を発表し、意見交換を行なった。

### ○ 1班

- ・本部と受付は最初に作り、受付した時に避難者に住所・氏名等を書いてもらうのがよい。
- ・避難者は一旦全て受け入れたあと、帰れる方は在宅避難を考えていただく。
- ・読み上げが速すぎて、避難者の振り分けが間に合わなかった。
- ・バスで来た外国人と大分の観光客をどうするか困った。1班はバスは中に入れたが、人は乗ったままにした。食料も分けなかったが、それでよいのか。

⇒ [意見交換]バス旅行者をどうしたか。

(2班)バスを校庭にいった。(3班)バスは中に入れたが人はバスの中に止めた。

### ○ 2班

- ・体育館に通路を設けて、コミュニティごとに避難者を受け入れた。
- ・報道関係者は受け入れず、時機を見て受け入れの是非を検討することにした。

⇒ [意見交換]

(1班)受け入れないことにした。但し落ち着いてから受け入れてもいいと思う。

(3班)班では決めていないが、個人の意見としては、非常に重要なので受け入れる方がよいと思う。

### ○ 3班

- ・かなり早い段階で体育館の通路を確保した。
- ・当初、感染症や認知症の人は1階に振り分ける予定だったが、混乱して結局2階になってしまった。
- ・ペットはゲージに入れていれば受け入れた。盲導犬は、ペットではなく体の一部なのでそのまま受け入れた。
- ・外部との対応に当たる渉外係を、対策本部とは別に置いた方がよいかどうか、皆さんに考えてほしい。

### ○ その他

- ・どういう人なら学校に避難してよいのか把握して、避難者数の見込みを立てておかないと大変なことになると思う。
- ・今回のHUGは、作戦会議の時間をとって話し合いができたので良かった。今後もレベルアップしてほしい。
- ・初めてのHUGでとまどったが、良い経験をさせてもらった。防災リーダーのこのような訓練は今までなかったので、今後もやってほしい。
- ・このHUG訓練は、避難所運営はどのようにしたらいいかを事前に頭に入れる訓練だと思う。それをここできちんと学んで、実際あったときにそれができるようにしてもらいたいと思う。

◎HUGは、H (hinanzyo 避難所)、U (unei 運営)、G (game ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられました。

